



山梨県 桃の会 会報第35号

出会う、つながる、わかちあう 2017年8月発行

梅雨明け宣言、何かピンとこないものでした。

しかしその一方で九州、その他の地域では、大雨をもたらした多くの方が被災されました。

今回もまた自然の驚異に人間の力の無力さを知る事となりました。

これからも猛暑が続くようです。身体をいたわりつつ、夏を乗り越えていきましょう。



8月 月例会

ひきこもり大学

経験者お二人のお話

その1 「ひき大山梨サマースクールリング ～人の親にもなっていない一介の元ひきが親御さんに向かって講釈垂れるって何様のつもり! ?～」

【講師】 瓜生直樹さんのプロフィール

都内にて障がい者地域活動支援センター相談員、傍らKHJ本部事務局地域連携担当として「ひきこもり対話交流会 :つな.かん:」に関わる。KHJ町田家族会世話人、「庵～IORI～」の運営活動、自身も14年半に及ぶ社会的ひきこもりの経験をもつ。

その2 ひきこもり大学家族学科家族再構築学科: 子が望むサポートとは?

【講師】 大橋史信さんのプロフィール

ひきこもりサポーター ・ KHJ東京大会の実行委員長

〈日 時〉 8月19日(土) 13:30～16:30

〈場 所〉 山梨県福祉プラザ 4F 会議室

〈参加費〉 一家族 1,000円(当事者は無料)

〈内 容〉 その1 長期 社会的ひきこもり経験者にして、「親の会」「青年の会」の居場所を運営するひきこもり支援NPOに従事していた経験をもつ講師が、事例を交えながら、親御さんに知って頂ければと思うことをお話しします。

その2 参加者の皆さんと対話式で進めます。

[お話後グループトークをします]

《当事者スペース》

〈日 時〉 8月19日(土) 13:30～16:30 パソコン室

“みんなで待ってるよ、とにかくいつペン出てこーし!”



《ミニグループトークの御案内》

〈日 時〉 8月27日(日) 10:00～12:00 山梨県福祉プラザ 4F 会議室

「お茶は出ないけどお話し会です。お気軽にどうぞ!」お待ちしております。

✦参加費は無料です。

●ピア Voice

7月15日東京巣鴨にあるKHJ本部で行われた全国大会実行委員会に、山梨から3人で参加させていただきました。

久しぶりの電車、あずさ、山手線とまごまごしている私は同行しているのではなく引率されて、テレビで見る「おばあちゃん原宿」と呼ばれる巣鴨地蔵商店街につきました。

委員会が始まるまで時間があつたので、本部の場所を確かめた後、お地蔵さんをお参りしたり、商店街を歩いたり、昼食をとったり、まさに私だけお上りさんでした。

実行委員会は約20名の参加者でした。予定では13:30~17:00まででしたが、ものすごい熱気で時間が過ぎるにつれ、ますますヒートアップするというような状態でした。発達障害の話題ではピークに達していました。必然的に予定時間には終わりませんでした。私は最初から「場違いのところへ来ちゃった、どうしよう!」と思っていました。話のレベルの高さに最初から最後までついてゆけず、ただの傍観者でした。恥ずかしいし、一緒に山梨から来た2人に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。でも貴重な経験をさせていただき感謝しています。

今年は、KHJ全国大会が10月28日(土)、29日(日)両日、東京で開催されます。是非とも多くの方々に参加して頂きたいと思います。

特に29日(日)は桃の会会長の篠原さんが分科会交流会において、「親のひきこもり大学、母親編」というテーマで発表することが決定しています。皆さんで応援に行きましょう。

生きづらさを抱える子供本人は一步踏み出せないでいるのですから、親が一步踏み出しましょう。

さまざまな「つながり」と「気づき」を求めて参加することに意味があると思います。(H)



☆ピアサポート（個別家族支援）を行っています。

「つながり」は家族の孤立を防ぎます。

まず、第三者の風を!!!

☆ミニグループトーク☆

7月23日(日) 10:00~12:00

梅雨も明けたというのに、どんよりと曇り、湿度60%以上という蒸し暑い中、14名(内父親4名)もお集まり頂き、子供の自立にはまず親の自立が不可欠なものであり、今回は「親の自立とは」をテーマに選びました。三つのグループに別れそれぞれのお立場の現況、それに対しての他の方たちのお考え、もしくは感想を話し合いました。いろいろな話を聞いて似たようなところがあるものの、やっぱりそれぞれが「十人十色、百人百様」な形態で、解決への難しさ改めて思い知らされます。テーマにそった話をするべきなのでしょうが、どうしても目先の苦しみを訴えかけるようになってしまい、それぞれの日頃の鬱積を吐き出すような話になりがちです。

最終的に私たちのグループは「過ぎ去った過去はあまり振り返らず、今を一生懸命生きるしかない!」それが「親の自立」へ繋がるのではないかという事でした。

親の精神的自立が欠けると子供に依存、支配的になりやすく、子供は自由に飛び立てなくなります。

私達親に完璧を求める訳ではありません。こうした人との交流の中で客観的視点に立ち、絶えず見直しをすることが大事ではないでしょうか。(K.O)

❀当事者スペースの報告❀

2017年7月16日(日)

○時間 午後1時30分～4時40分 ○場所 福祉プラザ1階PC室

○参加当事者・経験者(6名)

○関係者(2名)

○スペースにおける内容

- ・SNSについてあれこれ話し合い、学習
- ・居場所についての話し・カウンセリングについての体験談
- ・悩みについて話し合う
- ・トランプゲーム

○感じたこと

みんなで話しをしていると、人それぞれに様々な考え方や思いがあるのだなと感じます。

(報告者 米長)

千里の道も
はじめは一步・・・

居場所情報



あわてない、あわてない!

【農園でギャザリングしよう!】

- ◆市民農園・・・・・・・・・・1区画55㎡(約17坪)、1年間6,000円
◎場所:甲府市七沢町 友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか?
- ◆ボランティア・・・・・・・・・・主に果樹の畑に関わる作業
- ◆みくさのみたから・・・・・・・・・・ストレスなどで凝り固まった心身を解放するワークです。
◎9月5日(火)13:30~15:30 龍華院本堂(甲府市上曾根町4042)
- ◆申し込み・問い合わせ・・・・相良(さがら)農園 055-243-0261

〈すみれ会・8月の予定〉

◇月例会 ・8月19日(土)13:30~

☆参議院議員平木だいさく氏来る!

◇当事者会 ・8月20日(日)13:30~

場所:すみれ会事務所〈お問い合わせ〉090-5416-8748(清水)





7 月例会報告

7 月 16 日 (日) 13:30~16:30

猛暑が続く厳しい中、京都から 20 年以上にわたって若者の居場所を続けておられる山田孝明さんをお迎えしての例会でした。

御自身の体験から、母親が亡くなった時、「やっと自由になれる嬉しい、母の面倒をみなくて良い」という抑圧から解放されたことを話されました。

私自身も母を 10 年余り、たまたま近くに住んでいたため、兄弟からも頼りにされ、私一人が見るべきではないのに介護しなければならなかった。そんな私自身とオーバーラ

ップされ、母が亡くなった時の解放されたその立場におかれた心中はとてもわかる気がしました。四角四面の支援ではなく、柔軟性、多様性に富み方向性を探りつづけ、当事者とひたすら向かい続けた現実の話しをきき、一人の人間対人間が生で向き合い波乱万丈の人間ドラマを聞いているようでした。

一息入れた所で素人芸とは思えないトランプマジックを披露し会場の雰囲気をやわらげて下さり、場の空気が大分和んだ様子でした。

人間不在の不安が確実に増し、私たちがいかに生きるべきかを、問われる社会となりつつあるかもしれません。

社会の中にひきこもりながら生きている若者を受容し、共に生きようとするのが叶うことが豊かな社会ではないだろうか。

そのあと、5つのグループに別れ、「親と子の距離」というテーマで皆さんが自由に話される中で見直しの発言も目立つようになりました。子供の心の中はまだまだ抑圧されたものがあり、それに親が気付かずにごろしている場合も多くあるかもしれません。

グループで話すことにより、それぞれの気づきが親の自立(精神的)を深める機会になればと思います。

(M.K)



~今後の活動予定~

運営委員会	9月10日(日)(9日に変更あるかも)	10時~	パソコン室
月例会	9月17日(日)	13時30分~16時30分	福祉プラザ
ミニグループトーク	9月24日(日)	10時~	福祉プラザ

場所・日程が変更になることがあります。

▼お知らせ 10月28.29日に、KHJ全国ひきこもり家族連合会東京大会が開催されます。桃の会としては、マイクロバスをチャーターし、多くの一般会員の皆様の参加を募っています。1日20人の参加者で1人5千円位になります。東京への日帰り小旅行ととらえ、お気軽にご参加ください。ご検討宜しくお願い致します。